OKI

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 9055cV/3050cV/3020cV/3020cW

フィニッシャーユニット

ユーザーズマニュアル

○このマニュアルには、フィニッシャーユニットを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。フィニッシャーユニットをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。

○本マニュアルをフィニッシャーユニットのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	フィニッシャ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	フィニッシャの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 フィニッシャ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がフィニッシャ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をフィニッシャ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	フィニッシャを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

🚫	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
🚫	フィニッシャのジョイント部のネジを外して、ジョイント部をプリンタから外さないでください。フィニッシャが転がって台やテーブルから落下し、ケガをするおそれがあります。

⚠注意

🚫	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。
🚫	フィニッシャを外した状態で作業する際は、部品の角や端部に手が触れないよう、注意してください。エッジ等でケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 9055cV → ML9055cV
- MICROLINE 3050cV → ML3050cV
- MICROLINE 3020cV → ML3020cV
- MICROLINE 3020cW → ML3020cW
- Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

マーク

プリンタ、フィニッシャを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタ、フィニッシャを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINE は株式会社沖データの商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS は、米国 Apple Computer Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標、商品名です。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

１.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
２.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
３.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
４.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては３項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

目　次

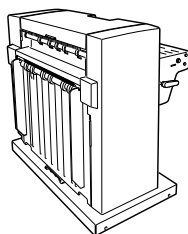
1 フィニッシャを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このフィニッシャは重量が約25kgありますので、お取り扱いに注意してください。

☐ フィニッシャ（本体）

☐ フェイスアップスタッカ（上スタッカ）
☐ フェイスダウンスタッカ（下スタッカ）
☐ ジョイント金具
☐ サイドカバー
☐ ネジ
☐ 電源コード
☐ プリンタ接続コード
☐ 保証書
☐ ユーザーズマニュアル（本書）

- **フィニッシャを使用するには、別途フィニッシャキットが必要です。ご購入されたプリンタに合ったフィニッシャキットをお使いください。**
- **ホチキス針はフィニッシャ内部にセットされています。**

フィニッシャの特長

本フィニッシャはML9055cV、ML3050cV、ML3020cV、ML3020cWに対応し、以下の特長があります。

大量スタック

フェイスアップスタッカ（上スタッカ）は最大100枚、フェイスダウンスタッカ（下スタッカ）は最大1000枚をスタック可能です。

ホチキス止め（ステープル）機能*1

会議の資料作成に便利なホチキス止め機能を装備しています。

パンチ機能*1

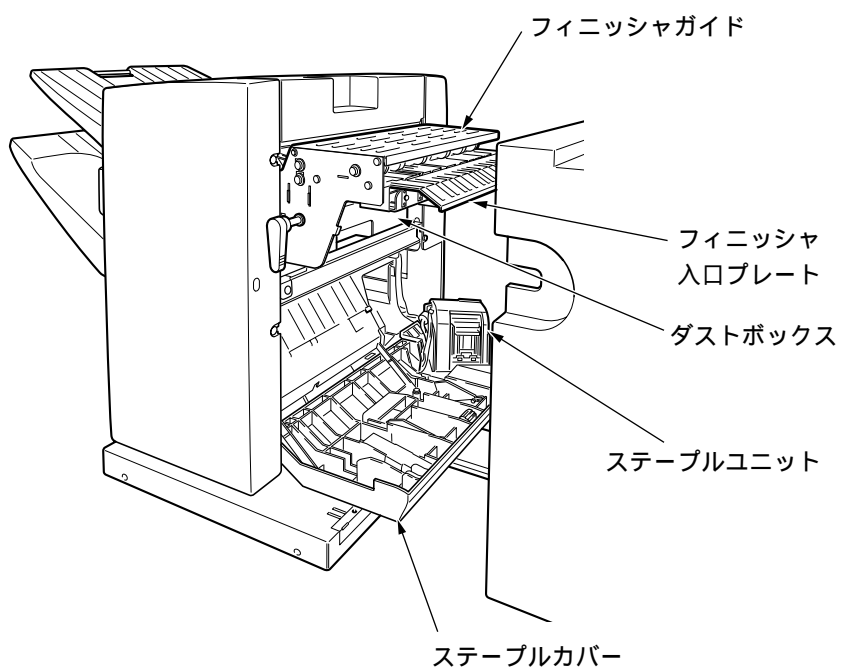
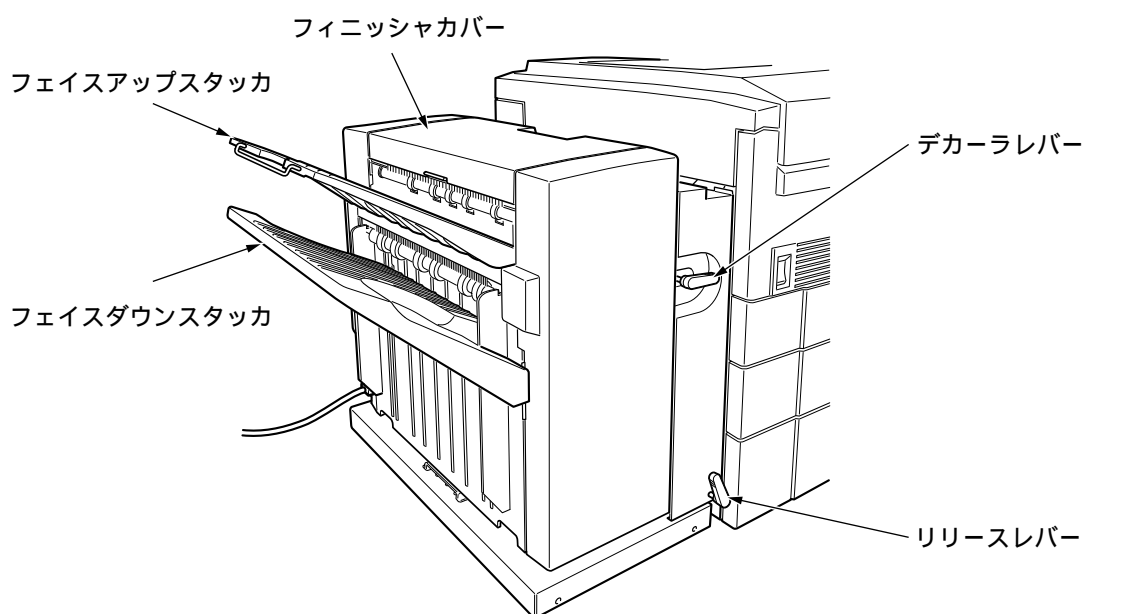
ファイリングに便利なパンチ機能を装備しています。

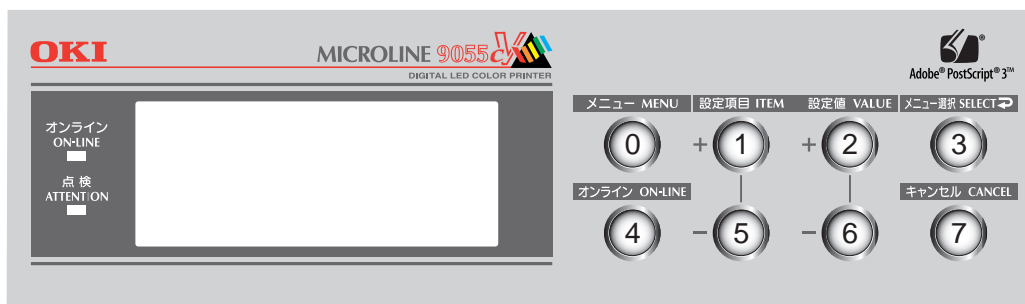
ジョブオフセット機能*1

印刷ジョブごとまたは部単位ごとに左右交互にずらして排出することで、簡単に文書の仕分けが可能なジョブオフセット機能を装備しています。

*1： ホチキス止め、パンチ、ジョブオフセット機能を使用できる用紙、排出方法には制限があります。

1
章

フィニッシャ各部の名前

操作パネル

フィニッシャに関するメッセージはプリンタの操作パネルに表示されます。
操作パネルの機能については、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「操作パネル」をご覧ください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

  周囲温度　　：　10 ～ 32゜C
  周囲湿度　　：　30 ～ 80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：　25℃

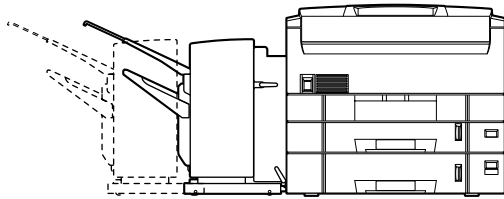
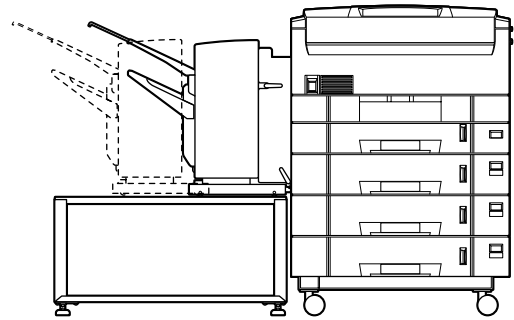
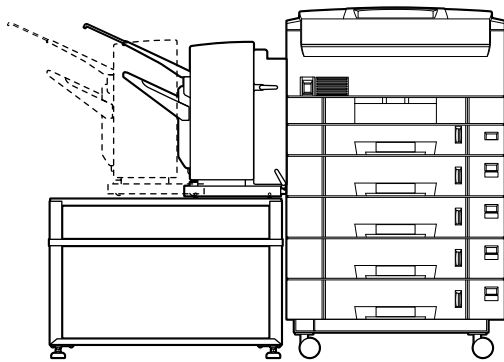
設置に関する注意

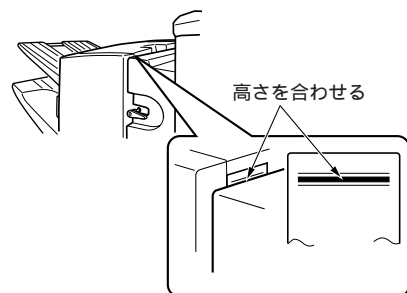
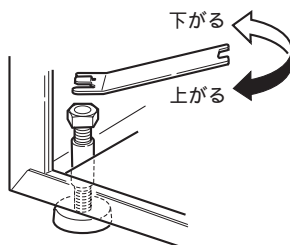
⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

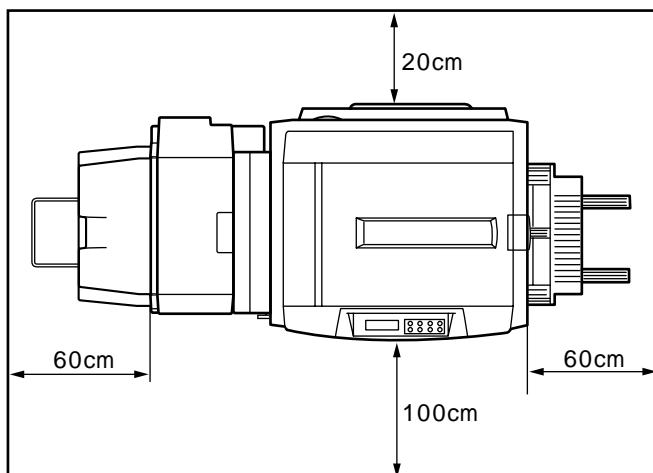
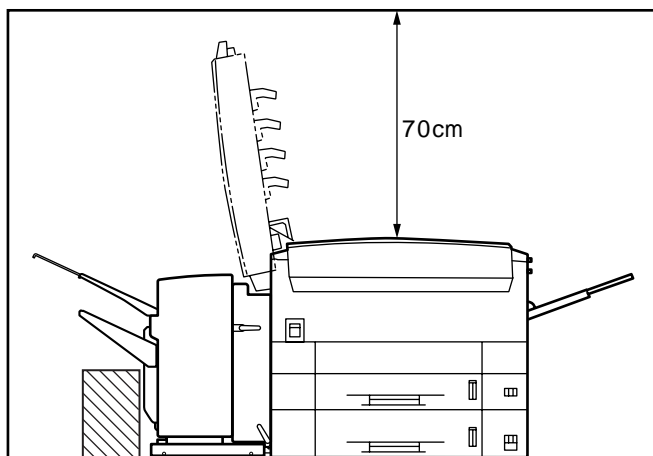
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- フィニッシャを移動するときは、フィニッシャの両側を持ってください。
- このフィニッシャは重量が約 25kg ありますので、お取り扱いに注意してください。

- お客様ご自身では設置作業は出来ません。設置作業は沖データの指定業者が行います。
- お客様ご自身ではフィニッシャをプリンタから完全に外すことはできません。外したい場合は、沖データの指定業者に連絡してください。
- フィニッシャを使用するには、フィニッシャキットが必要です。
- フィニッシャを使用するには、オプショントレイが必要です。下図のいずれかの構成でご使用ください。

Iタイプ*1
（セカンドトレイ）

IIタイプ*2
（大容量トレイ）

IIIタイプ*2
（セカンドトレイ＋大容量トレイ）

*1：Iタイプの場合、長さ125cm以上、幅70cm以上、耐荷重120kgの机の上にフィニッシャとプリンタの両方を置いてください。
*2：IIタイプ・IIIタイプの場合、オプションのフィニッシャ・コピーユニット兼用台が必要です。
ジュータンやカーペットの沈みなどでプリンタとフィニッシャの高さが合わなくなった場合、フィニッシャ・コピーユニット兼用台の足（4つ）のネジを添付の専用工具で回して調節してください。

設置スペース

- フィニッシャの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

注 **斜線部分に物を置かないでください。フェイスダウンスタッカ（下スタッカ）が上下に移動して、フィニッシャが故障するおそれがあります。**

電源を入れます

電源の条件

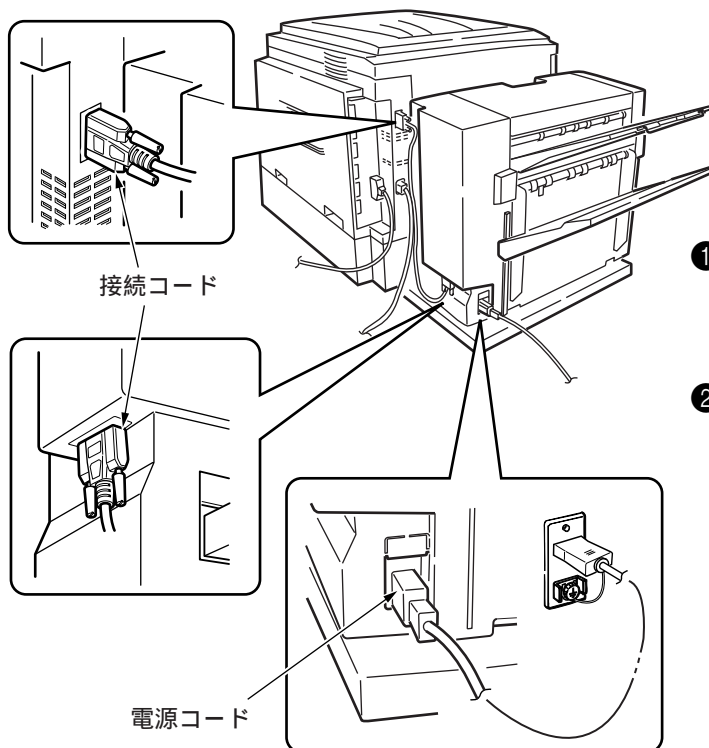
- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　:　100V ± 10V
  電源周波数　:　50Hz または 60Hz ± 1Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。

⚠警告

- **電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ずプリンタ本体の電源スイッチを OFF にしてから行ってください。**
- **アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。**
- **電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。**
- **電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。**
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
- **電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。**
- **電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。**
- **破損した電源コードを使用しないでください。**
- **たこ足配線はしないでください。**
- **添付の電源コードのみで使用してください。**
- **延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。**
- **延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンタ、フィニッシャが正常に動作しない場合があります。**
- **印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。**
- **連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。**

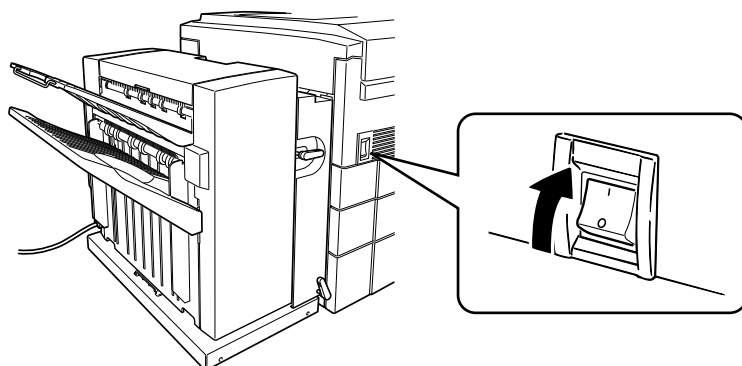
1章

1 フィニッシャの接続コードと電源コードを接続します。

注 プリンタの電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードがフィニッシャとコンセントに接続されていることを確認します。

❷ 接続コードがプリンタとフィニッシャのインタフェースコネクタに接続されていることを確認します。

2 プリンタの電源スイッチのON（｜）を押します。

プリンタの電源を入れると自動的にフィニッシャの電源が入ります。

電源を切ります

プリンタの電源を切ると、自動的にフィニッシャの電源が切れます。
ML9055cVとオプションの内蔵ハードディスクを取り付けたML3050cV、ML3020cV、ML3020cWは、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

- **いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスク内のデータが壊れるおそれがあります。**
- **ML3050cV、ML3020cV、ML3020cWでは、オプションの内蔵ハードディスク装着時にのみ、［シャットダウン　メニュー］が表示されます。**

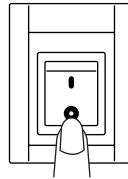
❶ 0 を数回押し、［シャットダウン　メニュー］を表示します。

❷ 3 を押し、［シャットダウン　スタート／ジッコウ］を表示します。

❸ 3 を押します。

［シャットダウン］と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ ［デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら、電源スイッチのOFF（O）を押します。

1
章

メニューマップ印刷をします

メニューマップ印刷を行い、フィニッシャが正しく取り付けられていることを確認します。

❶　トレイに A4 用紙をセットします。

❷　0　を数回押し、［インフォメーション　メニュー］を表示します。

❸　1　または　5　を押し、［メニューマップ　インサツ／ジッコウ］を表示します。

❹　3　を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

❺　下記のフィニッシャ関連項目が表示されることを確認します。

（サンプル）

MenuMap　MICROLINE 3050cV

CU version:08.61 [I00.59 S1.0.0m2 B01.53.0d 00088300 00020003 00000000 F20]
PU version:01.81.FB [P102.07 L000.06.00 T201.05.00 F100.00.56]
PCL Program version:00.93
PS Program version:3011.103.PS109　トレイ1:A4 横送り　DIMM Slot 1:CU Program ROM
Total Memory Size:192 MB　トレイ2:A4 縦送り　DIMM Slot 2:CU Program ROM
Flash Memory:2 MB [F20]　DIMM Slot 3:Heisei font
HDD:uninstalled
TE:047 JP1 POEO　OutputDevice:Finisher
C:0 M:0 Y:0 K:0

インフォメーションメニュー
メニューマップ印刷
ファイルリスト印刷
PCLフォント印刷
PSフォント印刷
DEMO1
エラーログ印刷

印刷メニュー
コピー枚数　1
ジョブオフセット　オン
給紙トレイ
出力ビン　スタンダードビン
パンチ　オフ
ホチキス　オフ
自動トレイ切り替え　オン
用紙サイズチェック　有効
優先トレイ　なし
解像度　1200DPI
モノクロ印刷速度　自動
印刷方向　縦
1ページ行数　64 行
編集サイズ　カセット用紙サイズ

MenuMap　MICROLINE 3050cV

CU version:08.61 [I00.59 S1.0.0m2 B01.53.0d 00088300 00020003 00000000 F20]
PU version:01.81.FB [P102.07 L000.06.00 T201.05.00 F100.00.56]
PCL Program version:00.93
PS Program version:3011.103.PS109　トレイ1:A4 横送り　DIMM Slot 1:CU Program ROM
Total Memory Size:192 MB　トレイ2:A4 縦送り　DIMM Slot 2:CU Program ROM
Flash Memory:2 MB [F20]　DIMM Slot 3:Heisei font
HDD:uninstalled　OutputDevice:Finisher
TE:047 JP1 POEO
C:0 M:0 Y:0 K:0

寿命メニュー
トレイ1印刷枚数　11
トレイ2印刷枚数　0
MPトレイ印刷枚数　0
ブラック ドラム ユニット　10 イメージ
シアン ドラム ユニット　10 イメージ
マゼンタ ドラム ユニット　10 イメージ
イエロー ドラム ユニット　10 イメージ
ベルトユニット　10 イメージ
定着器ユニット　10 プリント
ブラックトナー残量　15K = 100%　7.5K = 100%
シアントナー残量　15K = 100%　7.5K = 100%
マゼンタトナー残量　15K = 100%　7.5K = 100%
イエロートナー残量　15K = 100%　7.5K = 100%
ホチキス カウント　0
パンチ カウント　0
フィニッシャ カウント　0

プリンタの設定と項目

フィニッシャを付けると、プリンタの操作パネルのメニューに追加される設定項目です。

ML3020cW は［Win（PCL)］のみ対応しています。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
ー：プリンタドライバ使用時は無効

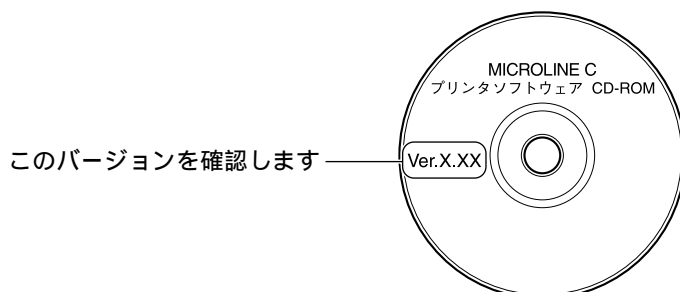
カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win (PS)	Win (PCL)	Mac
	設定項目（上段）	設定値（下段）				
インサツメニュー	シュツリョク　ビン*1	スタンダードビン オプション　ビン1 オプション　ビン2	排出先を設定します。 「スタンダードビン」はプリンタフェイスダウンスタッカ、「オプション　ビン1」はフィニッシャフェイスアップスタッカ（上スタッカ）、「オプション　ビン2」はフィニッシャフェイスダウンスタッカ（下スタッカ）に排出します。	◎	◎	◎
	パンチ	オン オフ	パンチするかどうか設定します。	◎	◎	◎
	ホチキス	オン オフ	ホチキス止めするかどうか設定します。	◎	◎	◎
ジュミョウメニュー	ホチキス　カウント	nnnnnn	ホチキス止めした回数を表示します。	ー	ー	ー
	パンチ カウント	nnnnnn	パンチした回数を表示します。	ー	ー	ー
	フィニッシャ　カウント	nnnnnn	フィニッシャに排出した枚数を表示します。	ー	ー	ー

*1： フィニッシャを付けると、プリンタフェイスアップスタッカには排出できません。

2 プリンタドライバをセットアップします

初めてコンピュータにプリンタドライバをセットアップする場合

Windows2000/NT4.0 は Administrator の権限が必要です。

1 プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」とフィニッシャキット添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」のバージョンを確認します。

注

ご購入されたプリンタに合ったフィニッシャキット添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をお使いください。

2 バージョンの新しい方の「プリンタソフトウェア CD-ROM」を使用してセットアップします。

プリンタドライバのセットアップの方法については、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「Windows をセットアップします」、「Macintosh をセットアップします」をご覧ください。

Macintosh ではセットアップは終了です。

- **ML3020cW は Windows PCL プリンタドライバのみ使用します。**
- **バージョンの古い「プリンタソフトウェア CD-ROM」は使用しません。**

3 プリンタドライバで［フィニッシャ］を［搭載している］にします。

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［フィニッシャ］を選択します。

❹ ［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

（Windows98 の画面）

注 **［追加トレイの数］の設定も確認してください。**

Windows 2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0 では［インストールできるオプション］）の［フィニッシャ］を選択します。

❹ ［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

（Windows2000 の画面）

［追加トレイの数］の設定も確認してください。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、WindowsMe/98/95は［プロパティ］、Windows2000は［印刷設定］、WindowsNT4.0は［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［フィニッシャ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

（Windows98 の画面）

注 **［トレイ数］の設定も確認してください。**

セットアップは終了です。

既にコンピュータにプリンタドライバをセットアップしている場合

- Windows2000/NT4.0 では Administrator の制限が必要です。
- ML3020cW は Windows PCL プリンタドライバのみ使用します。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

2 コンピュータを起動します。

3 プリンタの電源を ON にします。

4 既にセットアップしているプリンタドライバがフィニッシャに対応しているか確認し、対応している場合は［フィニッシャ］を［搭載している］にします。

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

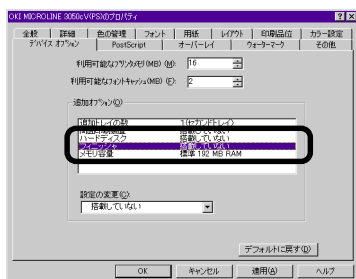
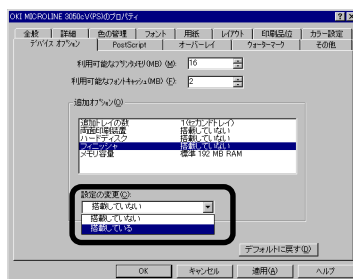
❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］に［フィニッシャ］の項目が表示されているか確認します。

（Windows98 の画面）

表示されていなかったら？

☞ プロパティを閉じ、手順 ***5***（27 ページ）に進みます。

❹ 表示されている場合は［フィニッシャ］を選択します。

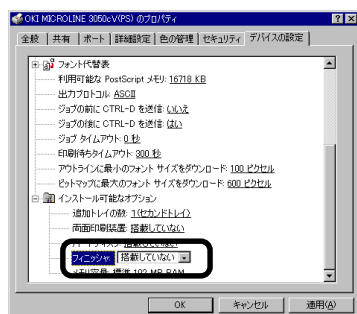
❺ ［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

注 ［追加トレイの数］の設定も確認してください。

セットアップは終了です。

Windows 2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

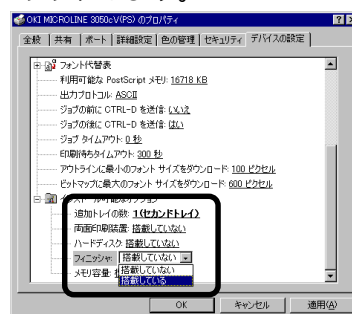
❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0 では［インストールできるオプション］）に［フィニッシャ］の項目が表示されているか確認します。

（Windows2000 の画面）

表示されていなかったら？

☞ プロパティを閉じ、手順 ***5***（27 ページ）に進みます。

❹ 表示されている場合は、［フィニッシャ］を選択します。

❺ ［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

注 **［追加トレイの数］の設定も確認してください。**

セットアップは終了です。

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、WindowsMe/98/95は［プロパティ］、Windows2000 は［印刷設定］、WindowsNT4.0 は［ドキュメントの既定値］を選択します。

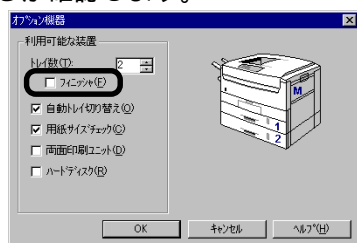
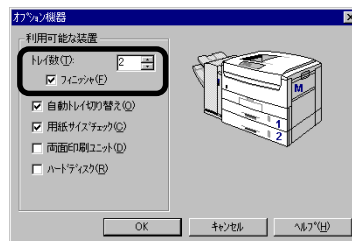
❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［フィニッシャ］の項目が表示されているか確認します。

（Windows98 の画面）

表示されていなかったら？

☞ プロパティを閉じ、手順 ***5***（27 ページ）に進みます。

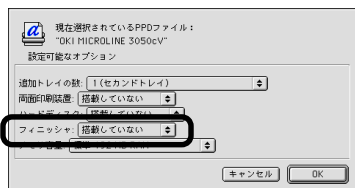
❺ 表示されている場合は［フィニッシャ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

注 **［トレイ数］の設定も確認してください。**

セットアップは終了です。

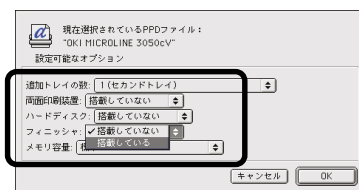
Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［オプションの構成］をクリックします。

❸ ［フィニッシャ］の項目が表示されているか確認します。

表示されていなかったら？

☞ セレクタを閉じ、手順**5**（27ページ）に進みます。

❹ ［フィニッシャ］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

注 **［追加トレイの数］の設定も確認してください。**

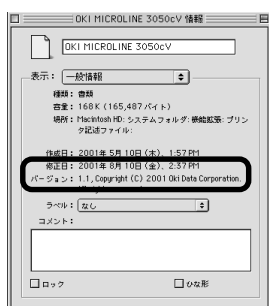
❺ ［セレクタ］を閉じます。

セットアップは終了です。

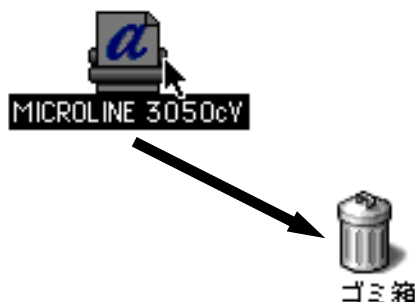
Macintosh（USB 接続）の場合

❶ ［システムフォルダ］-［機能拡張］-［プリンタ記述ファイル］内の「O K I MICROLINE ***」(***はプリンタ名）を選択します。

❷ ［ファイル］メニューの［情報を見る］を選択します。

❸ バージョンを確認します。

バージョンが 1.0 だったら？

☞ ダイアログを閉じ、手順 **5**（27 ページ）に進みます。

❹ バージョンが 1.1 以上の場合はデスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❺ ［MicrolinePS］フォルダ内の［デスクトップ・プリンタ Utility］を使用して、デスクトップ・プリンタを作成し直します。

メモ **デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定が変更されます。**

デスクトップ・プリンタの作成方法については、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「USBインタフェースで接続します（Macintosh）」の「デスクトップ・プリンタを作成します」をご覧ください。

セットアップは終了です。

5 既にセットアップしているプリンタドライバがフィニッシャに対応していない場合、プリンタドライバを削除します。

注 すべてのMICROLINE Colorシリーズ（MLxxxxc、MLxxxxcV、MLxxxxcW）のプリンタドライバを削除しセットアップし直してください。

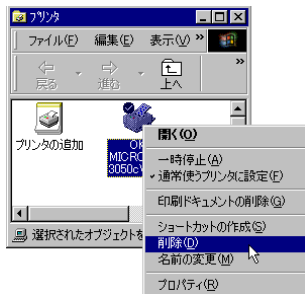
2章

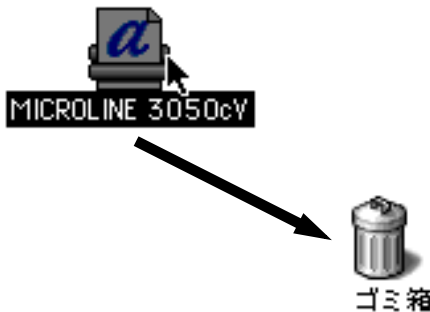
Windowsプリンタドライバの場合

注 プリンタの電源をOFFにしてください。OFFにしないとプリンタドライバの削除ができないことがあります。

❶ ［プリンタ］フォルダ内の［OKI MICROLINE ***］（***はプリンタ名）をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❷ 以降、画面の指示に従います。

❸ Windowsを再起動します。

Macintoshプリンタドライバの場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱にドラッグし、空にします。

6 フィニッシャキット添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」を使用して、プリンタドライバをセットアップし直します。

ご購入されたプリンタに合ったフィニッシャキット添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をお使いください。

2章

Windows プリンタドライバの場合

パラレル接続の場合は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「プリンタの追加でセットアップします（パラレル）」をご覧ください。

セットアップ後、手順 ***8***（30 ページ）に進みます。

USB接続の場合は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「プリンタの追加でセットアップします（USB）」をご覧ください。

セットアップ後、手順 ***8***（30 ページ）に進みます。

ネットワーク接続の場合は、一旦「通常使うローカルプリンタ」（LPT1:）としてセットアップします。プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「プリンタの追加でセットアップします（パラレル）」をご覧ください。

セットアップ後、手順 ***7***（29 ページ）に進みます。

Windows2000 で IPP（TCP/IP）プロトコルを使用している場合のみ、ネットワークプリンタとしてセットアップします。イーサネットボードユーザーズマニュアルの「IPP（TCP/IP）プロトコルを利用します」の「プリンタソフトウェアをセットアップします」をご覧ください。

セットアップ後、手順 ***8***（30 ページ）に進みます。

Macintosh プリンタドライバの場合

プリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「Macintoshをセットアップします」をご覧ください。

Macintosh ではセットアップは終了です。

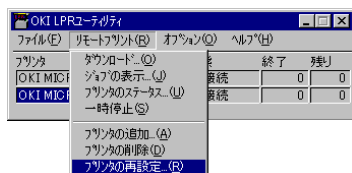
7　Windows でネットワーク接続している場合は、接続先を変更します。

セットアップしたプリンタドライバの印刷先のポートを「LPT1:」からネットワークの接続先に変更します。

OKI LPR ユーティリティを使用している場合

❶　OKILPR ユーティリティを起動します。

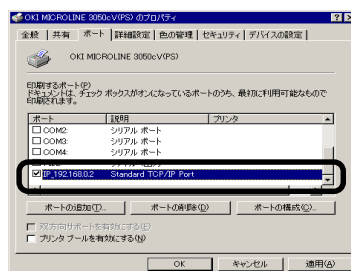
❷　[リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

❸　[再接続] をクリックします。

❹　[OK] をクリックします。

Windows2000/NT4.0 で LPR（TCP/IP）プロトコルを使用している場合

❶　[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

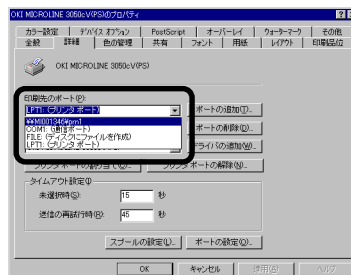
❸　[ポート] タブで接続していたポート名を選択します。

（Windows2000 の画面）

❹　[OK] をクリックします。

NetBEUI プロトコルを使用している場合

❶　[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❷　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸　WindowsMe/98/95 では [詳細] タブの [印刷先のポート]、Windows2000/NT4.0 では [ポート] タブの [印刷するポート] で [\\ML******\prn1]（****** はイーサネットアドレスの下 6 桁）を選択します。

（Windows98 の画面）

❹　[OK] をクリックします。

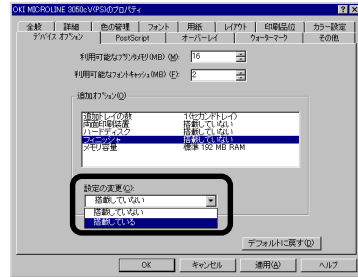
8 プリンタドライバで［フィニッシャ］を［搭載している］にします。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［追加オプション］の［フィニッシャ］を選択します。

❹ ［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

（Windows98 の画面）

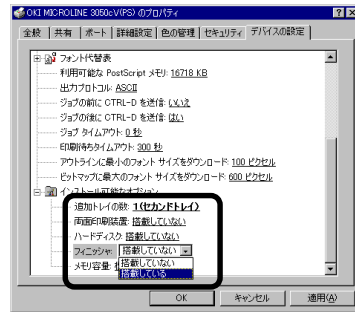
注 **［追加トレイの数］の設定も確認してください。**

Windows2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］（WindowsNT4.0 では［インストールできるオプション］）の［フィニッシャ］を選択します。

❹ ［搭載している］を選択し、［適用］をクリックします。

（Windows2000 の画面）

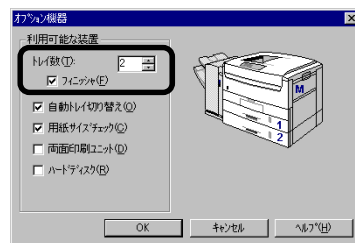
注 **［追加トレイの数］の設定も確認してください。**

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、WindowsMe/98/95は［プロパティ］、Windows2000 は［印刷設定］、WindowsNT は［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［用紙］タブの［オプション機器］をクリックします。

❹ ［フィニッシャ］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

（Windows98 の画面）

注 **［トレイ数］の設定も確認してください。**

セットアップは終了です。

3 フィニッシャを使用します

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって、排出方法が異なったりホチキス止め（ステープル）やパンチができないものがあります。次の手順ですべての条件を満足する方法を確認してください。
フィニッシャを付けると、使用できる用紙、ホチキス止め、パンチに制限があります。詳しくは「フィニッシャの機能について」（43 ページ）をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法を確認します。

◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法		
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し
			トレイ 1	トレイ 2 ～ 5 *2	
普通紙	連量 55 ～ 69kg	A4（横送り）、レター（横送り）	○	○	○
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	○	○	○
		B5（横送り）	○	○	○
		A5、B5（縦送り）、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	○	○	○
		A3	○	○	○
		A3ノビ、A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	○	○	○
		A6	○	×	○
		カスタム*3	×	×	○
	連量 70 ～ 90kg	A4（横送り）、レター（横送り）	◎	◎	○
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	◎	◎	○
		B5（横送り）	◎	◎	○
		A5、B5（縦送り）、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	◎	◎	○
		A3	◎	◎	○
		A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	◎	◎	○
		A3ノビ	○	○	○
		A6	○	×	○
		カスタム*3	×	×	○
	連量 91 ～ 150kg	A4（横送り）、レター（横送り）	○	○	○
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	○	○	○
		A5、B5、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	○	×	○
		A3	○	○	○
		A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	○	○	○
		A3ノビ	○	○	○
		A6	○	×	○
		カスタム*3	×	×	○
	連量 151 ～ 170kg	A4（横送り）、レター（横送り）	×	×	○
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	×	×	○
		A5、B5、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	×	×	○
		A3	×	×	○
		A3ノビ、A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ*5	×	×	×
		A6	×	×	○
		カスタム*3	×	×	○
はがき*4	ー	はがき、往復はがき	○	×	○
封筒*4	ー	封筒1（長形3号）*6 封筒2（長形4号）*6 封筒3（洋形4号）*6 Com-9、Com-10、DL、C4、Monarch*6	×	×	×
		封筒4（A4サイズ）、C5	×	×	○
ラベル紙	ー	A4、レター	×	×	○
OHP シート	ー	A4、レター	○	×	○

＊1： 上から順にトレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 となります。
＊2： トレイ 2 ～ 5、両面印刷はオプションです。
＊3： フィニッシャを付けた場合、カスタムは幅 100 ～ 297mm、長さ 148 ～ 900mm です。
＊4： はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
＊5： フィニッシャを付けた場合、連量 151 ～ 170kg の A3 ノビ、A3 ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラは使用できません。
＊6： フィニッシャを付けた場合、封筒 1（長形 3 号）、封筒 2（長形 4 号）、封筒 3（洋形 4 号）、Com-9、Com-10、DL、C4、Monarch は使用できません。

2 用紙の種類、厚さ、サイズから排出方法を確認します。

◎ ：片面、両面印刷とも使用できます
○ ：片面印刷のみ使用できます
× ：使用できません

種類	厚さ	サイズ	排出方法								
			フィニッシャフェイスアップ（表排出）				フィニッシャフェイスダウン（裏排出）				プリンタフェイスダウン（裏排出）
			排出のみ	パンチ長辺とじ	パンチ短辺とじ	ホチキス止め	排出のみ	パンチ長辺とじ	パンチ短辺とじ	ホチキス止め	排出のみ
普通紙	連量55～69kg	A4（横送り）、レター（横送り）	○	○	×	×	○	○	×	○	○
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	○	×	○	×	×	×	×	×	○
		B5（横送り）	○	○	×	×	×	×	×	×	○
		A5、B5（縦送り）、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	○	×	○	×	×	×	×	×	○
		A3	○	×	○	×	×	×	×	×	○
		A3ノビ、A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	×	×	×	×	×	×	×	×	○
		A6	○	×	○	×	×	×	×	×	×
		カスタム	○	×	○	×	×	×	×	×	×
	連量70～89kg	A4（横送り）、レター（横送り）	◎	◎	×	×	◎	◎	×	◎	◎
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	◎	×	◎	×	×	×	×	×	◎
		B5（横送り）	◎	◎	×	×	×	×	×	×	◎
		A5、B5（縦送り）、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	◎	×	◎	×	×	×	×	×	◎
		A3	◎	×	◎	×	×	×	×	×	◎
		A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	×	×	×	×	×	×	×	×	◎
		A3ノビ	×	×	×	×	×	×	×	×	○
		A6	○	×	○	×	×	×	×	×	×
		カスタム	○	×	○	×	×	×	×	×	×
	連量90～150kg	A4（横送り）、レター（横送り）	○*1	×	×	×	×	×	×	×	○*1
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	○*1	×	×	×	×	×	×	×	○*1
		A5、B5、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	○*1	×	×	×	×	×	×	×	○*1
		A3	○*1	×	×	×	×	×	×	×	○*1
		A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	×	×	×	×	×	×	×	×	○*1
		A3ノビ	×	×	×	×	×	×	×	×	○
		A6	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		カスタム	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	連量151～170kg	A4（横送り）、レター（横送り）	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		A4（縦送り）、レター（縦送り）	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		A5、B5、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		A3	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		A3ノビ、A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		A6	○	×	×	×	×	×	×	×	×
		カスタム	○	×	×	×	×	×	×	×	×
はがき	―	はがき、往復はがき	○	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒	―	封筒1（長形3号） 封筒2（長形4号） 封筒3（洋形4号） Com-9、Com-10、DL、C4、Monarch	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		封筒4（A4サイズ）、C5	○	×	×	×	×	×	×	×	×
ラベル紙	―	A4、レター	○	×	×	×	×	×	×	×	×
OHPシート	―	A4、レター	○	×	×	×	×	×	×	×	×

*1： 連量90kgの用紙のみ両面印刷が使用できます。

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- **メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。**
- **用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。**

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ*1	メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*2	プリンタドライバの［用紙厚］の設定*3
普通紙*4	55kg (64g/m²)	ウスイカミ*5	フツウシ*6	薄い紙*5
	55～64kg (64～74g/m²)	フツウシ		普通紙
	65～75kg (75～90g/m²)	ヤヤアツイカミ		やや厚い紙
	76～89kg (91～104g/m²)	アツイカミ		厚い紙
	90～105kg (105～122g/m²)	ヨリアツイカミ		より厚い紙
	106～170kg (123～200g/m²)	ゴクアツイカミ		ごく厚い紙
はがき*7	—	—	—	—
封筒*7	—	—	—	—
ラベル紙	0.1～0.17mm未満	フツウシ	ラベルシ	ラベル紙1
	0.17～0.2mm	ゴクアツイカミ		ラベル紙2
OHPシート*8	—	—	OHP	OHPシート

*1： ホチキス止め、パンチ可能な用紙の厚さは、普通紙の「ウスイカミ」「フツウシ」「ヤヤアツイカミ」「アツイカミ」です。
*2： メディアタイプは［フツウシ］、［ラベルシ］、［OHP］以外は設定しないでください。
*3： プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウェイト、メディアタイプを設定することができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されます。
プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
*4： 両面印刷できる用紙の厚さは連量70～90kg（81～105g/m²）です。
*5： 普通紙でシワがでるときに設定します。
*6： メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。
*7： はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*8： OHPシートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。

メモ **メディアウェイトの［ゴクアツイカミ］、メディアタイプの［ラベルシ］、［OHP］を設定すると、印刷速度が遅くなります。**

2 操作パネルでメディアウエイトを設定します。

- メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ1で普通紙（70kg）に印刷するときの設定手順（[トレイ1　メディアウエイト] を［ヤヤアツイカミ］に設定します）を説明します。

❶ (0) を数回押し、[メディア　メニュー］を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[トレイ1　メディアウエイト］を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、[ヤヤアツイカミ］を表示します。

❹ (3) を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ (4) を押し、[オンライン］にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。普通紙に印刷する場合や、ホチキス止め、パンチをする場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙、OHP シートは必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは［フツウシ］、[ラベルシ］、[OHP］以外は設定しないでください。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順（[MP トレイ　メディアタイプ］を［OHP］に設定します）を説明します。

❶ (0) を数回押し、[メディア　メニュー］を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[MP トレイ　メディアタイプ］を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、[OHP］を表示します。

❹ (3) を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ (4) を押し、[オンライン］にします。

印刷します

1 プリンタに用紙をセットします。

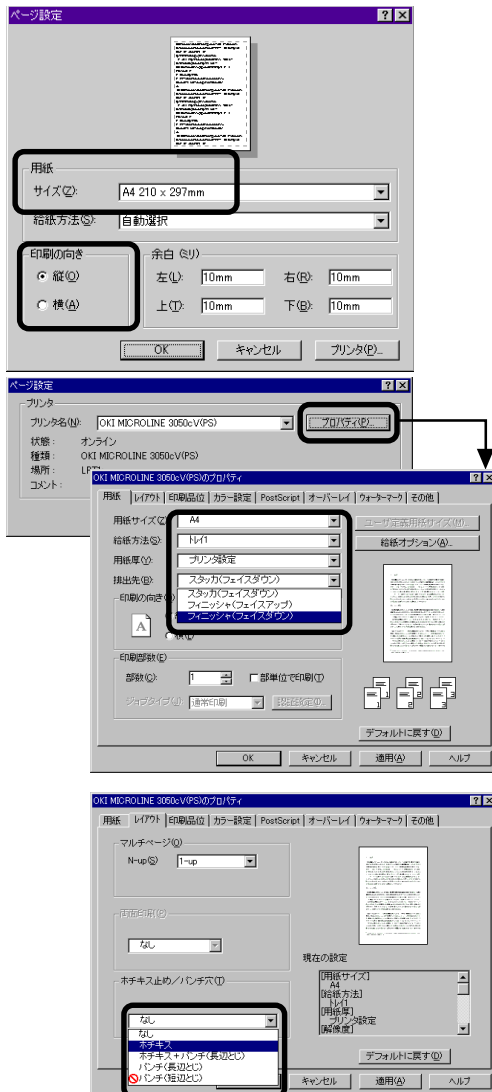
詳しくはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編「用紙カセットから印刷します」、「マルチパーパストレイから印刷します」、「手差しから印刷します」をご覧ください。

2 アプリケーションを起動します。

Windows または Macintosh で印刷したいファイルを開きます。

3 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］、［ホチキス止め／パンチ穴］を設定します。

- **Windows では［ワードパッド］、Macintosh では［Simple Text］を使い、トレイ 1 から A4 サイズの普通紙を横送りにセットし、ホチキス止めをして、フィニッシャのフェイスダウンスタッカ（下スタッカ）に排出する場合を例にしています。**
- **アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編「プリンタドライバの初期設定を変更したい」をご覧ください。**
- **ML3020cW は Windows PCL プリンタドライバのみ使用します。**

Windows Me/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

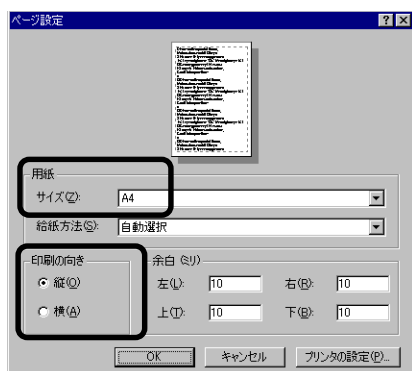
❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］、［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

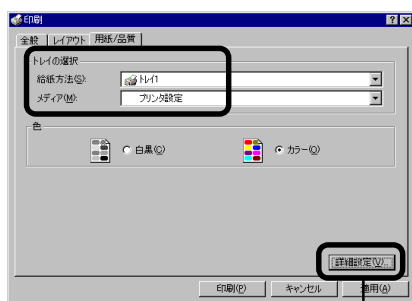
❻ ［レイアウト］タブの［ホチキス止め / パンチ穴］で［ホチキス］を選択し、［OK］をクリックします。

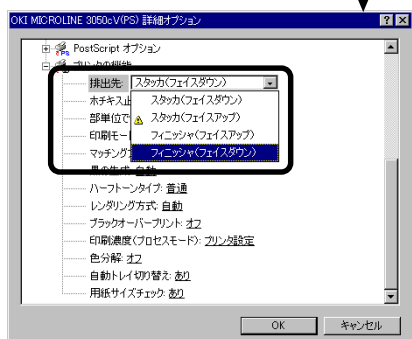
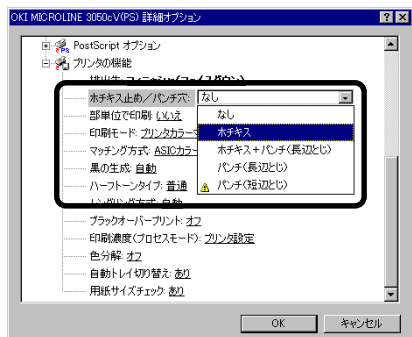
❼ ［印刷］画面で［OK］をクリックし、印刷します。

3章

Windows 2000 PS プリンタドライバの場合

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [サイズ] で [A4]、[印刷の向き] で [縦] または [横] を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❹ [用紙／品質] タブの [給紙方法] で [トレイ 1] を選択します。

❺ [用紙／品質] タブの [詳細設定] をクリックします。

❻ [排出先] で [フィニッシャ (フェイスダウン)] を選択します。

❼ [ホチキス止め／パンチ穴] で [ホチキス] を選択し、[OK] をクリックします。

❽ [印刷] をクリックし、印刷します。

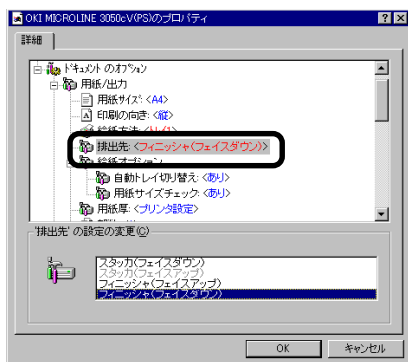
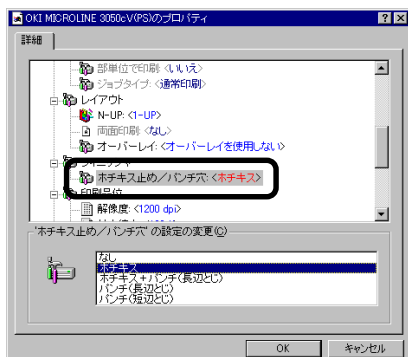
Windows NT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［詳細］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻ ［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❼ ［ホチキス止め／パンチ穴］で［ホチキス］を選択し、［OK］をクリックします。

❽ ［印刷］画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCL プリンタドライバの場合

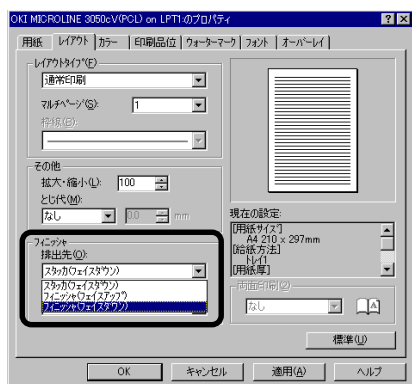
❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

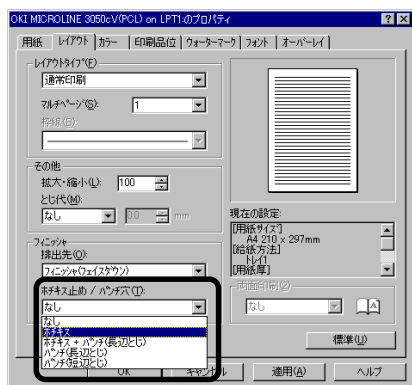
❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

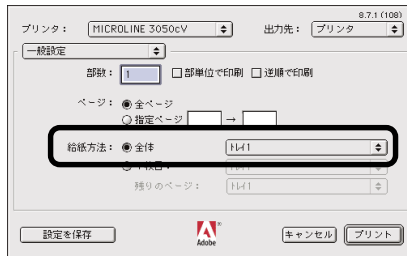
❹ ［プロパティ］をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

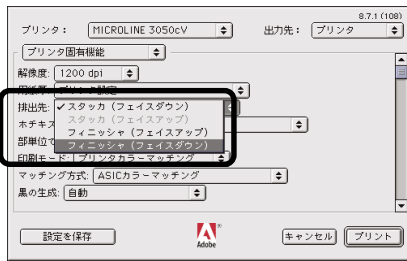
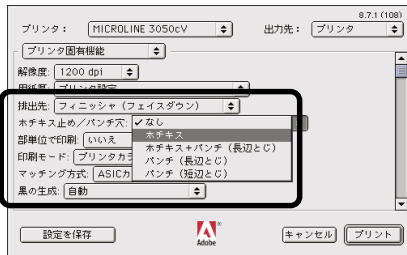
❺ ［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ1］を選択します。

❻ ［レイアウト］タブの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❼ ［レイアウト］タブの［ホチキス止め／パンチ穴］で［ホチキス］を選択し、［OK］をクリックします。

❽ ［印刷］画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Macintosh の場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［一般設定］の［給紙方法］で［トレイ1］を選択します。

❺ ［プリンタの固有機能］の［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❻ ［プリンタの固有機能］の［ホチキス止め／パンチ穴］で［ホチキス］を選択します。

❼ ［プリント］をクリックし、印刷します。

4 フィニッシャの機能について

4章

使用できる用紙

フィニッシャを付けた場合、使用できる用紙と排出方法に制限があります。

- プリンタフェイスアップスタッカは使用できません。
- カスタム幅100～297mm、長さ148～900mmです。用紙サイズは縦長に設定する必要があります。
- 連量151～170kgのA3ノビ、A3ワイド（SRA3）、タブロイドエキストラは使用できません。
- 封筒1（長形3号）、封筒2（長形4号）、封筒3（洋形4号）、Com-9、Com-10、DL、C4、Monarchは使用できません。

詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」（32ページ）、「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」（34ページ）をご覧ください。

用紙の種類、サイズ、厚さによってホチキス止め、パンチ、ジョブオフセットに制限があります。詳しくは「ホチキス止めについて」（45ページ）、「パンチについて」（46ページ）、「ジョブオフセットについて」（47ページ）をご覧ください。

用紙の仕様についてはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編「使用できる用紙について」をご覧ください。

ホチキス止めについて

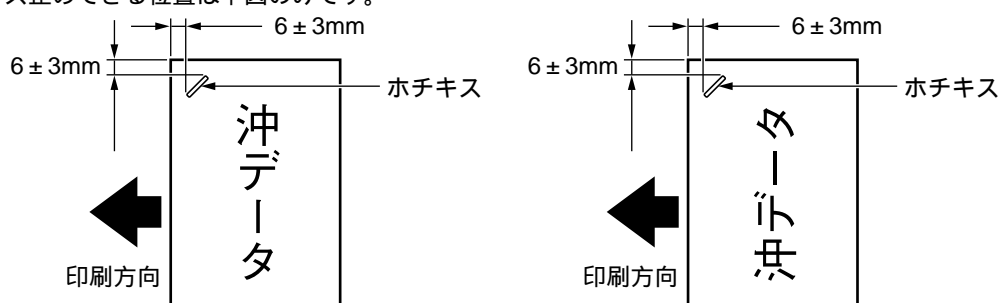
指定可能用紙サイズ

A4（横送り）、レター（横送り）

排出可能スタッカ

フィニッシャフェイスダウンスタッカ（下スタッカ）*
*：50部以上スタックできません。

ホチキス止め位置

ホチキス止めできる位置は下図のみです。

ホチキス止め可能枚数と用紙の厚さ

連量55～89kgの普通紙のみ使用できます。はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは使用できません。
最大30枚、用紙の厚さ3mm以下

- **用紙の厚さが3mm以下でも、30枚以上はホチキス止めできません。**
- **用紙の厚さによってホチキス止めできる枚数が変わります。**

用紙の厚さ	ホチキス止め可能枚数
連量55～64kg	30枚
連量65～75kg	25枚
連量76～89kg	22枚

- **ホチキス止め可能枚数を越えた場合は、ホチキス止めされずに用紙が排出されます。**

ホチキス止め単位

印刷ジョブ単位、部単位でホチキス止めを行います。ホチキス止めが指定されていれば、一枚でもホチキス止めを行います。
1つの印刷ジョブ内にA4（横送り）、レター（横送り）の用紙サイズが混在して指定された場合は、ホチキス止めを行います。
1つの印刷ジョブ内にA4（横送り）、レター（横送り）の用紙サイズ以外のホチキス止めできない用紙が混在して指定された場合には、ホチキス止めされずに用紙が排出されます。また、A4（横送り）、レター（横送り）の用紙サイズ以外の用紙は、フィニッシャフェイスダウンスタッカから排出できないため、排出可能な別のスタッカに排出されます。

- **印刷データによっては、上記と異なる結果になる場合があります。**
- **部単位でホチキス止めする場合には、プリンタドライバの「部単位で印刷」に設定してください。アプリケーションの部単位印刷機能では、部単位でホチキス止めされないことがあります。またWindows2000PSプリンタドライバ、Macintoshプリンタドライバでプリンタのメモリを使用しないで丁合印刷する場合も、部単位でホチキス止めされないことがあります。プリンタドライバの設定方法は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「文章を部単位で印刷したい（丁合印刷）」をご覧ください。**

パンチについて

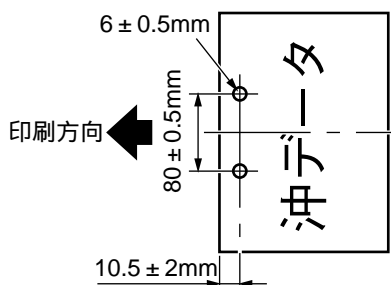
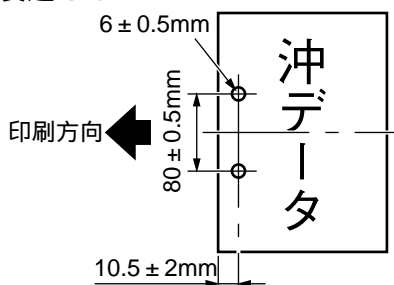
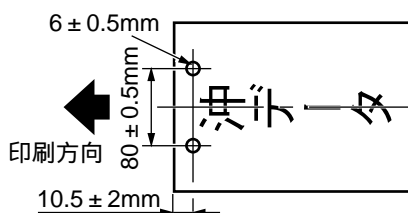
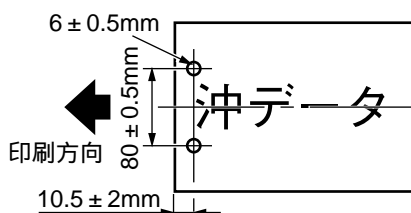
指定可能用紙サイズ

長辺とじ：A4（横送り）、レター（横送り）、B5（横送り）
短辺とじ：A4（縦送り）、レター（縦送り）、B5（縦送り）、A3、A5、A6、B4、リーガル（13インチ）、リーガル（13.5インチ）、リーガル（14インチ）、エグゼクティブ、タブロイド、カスタム（幅100～297mm、長さ148～900mm）＊1
＊1： 用紙サイズは縦長に設定する必要があります。

排出可能スタッカ

フィニッシャフェイスアップスタッカ（上スタッカ）
フィニッシャフェイスダウンスタッカ（下スタッカ）＊2
＊2： 排出できる用紙は、A4（横送り）、レター（横送り）のみです。

パンチ位置

パンチは2穴です。
パンチできる位置は下図のみです。

パンチ可能用紙の厚さ

連量55～89kgの普通紙のみ使用できます。はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは使用できません。

パンチ単位

一枚づつパンチを行います。1つの印刷ジョブ内に用紙サイズが混在して指定された場合もパンチを行いますが、指定したパンチ位置にパンチされないことがあります。1つの印刷ジョブ内にパンチできない用紙が混在して指定された場合は、その用紙のみパンチされずに排出されます。また、指定したスタッカから排出できない用紙が混在されて指定された場合は、その用紙のみ排出可能な別のスタッカに排出されます。

印刷データによっては、上記と異なる結果になる場合があります。

ジョブオフセットについて

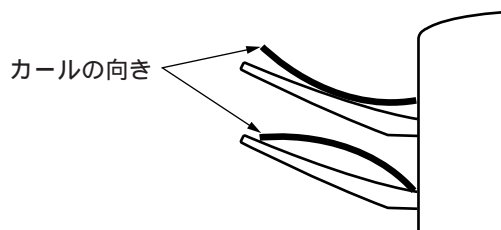
排出先をフィニッシャフェイスダウンスタッカ（下スタッカ）にすると、印刷ジョブごとまたは部単位ごとに仕分けして印刷することができます。

- **ジョブオフセットできる用紙サイズは、A4（横送り）、レター（横送り）のみです。**
- **ホチキス止め指定をした場合は、ジョブオフセットできません。**

ジョブオフセットについては、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「印刷ジョブごとに仕分けして印刷したい」をご覧ください。

4章

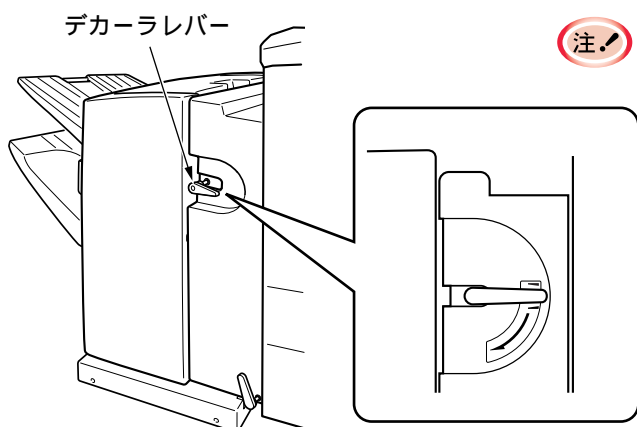
デカーラ機能について

フィニッシャに排出される用紙が下図の方向にカールが大きい場合、紙づまりやフィニッシャスタックエラーになることがあります。デカーラ機能を使用すると用紙のカールを少なくすることができ、エラーが回避されることがあります。

4
章

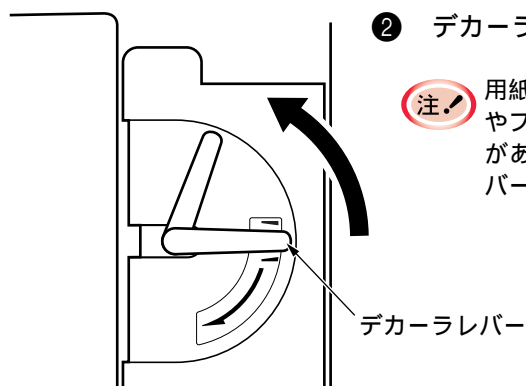
1 デカーラレバーを操作します。

デカーラレバー

❶ デカーラレバーが水平にセットされていることを確認します。

注 **通常はこの状態で使用してください。**

❷ デカーラレバーを上向きに回します。

注 **用紙のカールの方向によっては、紙づまりやフィニッシャスタックエラーになる場合があります。その場合には、デカーラレバーを元の水平に戻してください。**

デカーラレバー

5 メンテナンスをします

ホチキス針を補充します

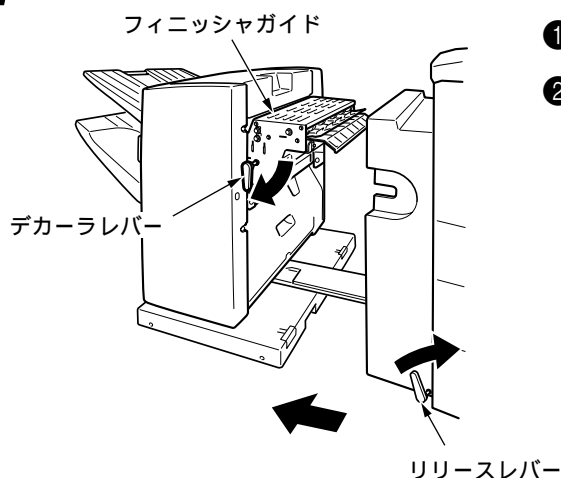
ホチキス針の補充の目安

ホチキス針が残り少なくなると操作パネルに[ホチキスノ　ハリガ　アリマセン]のメッセージが表示されますので、新しいホチキス針を補充してください。ホチキス針は購入時に約3,000本入っています。

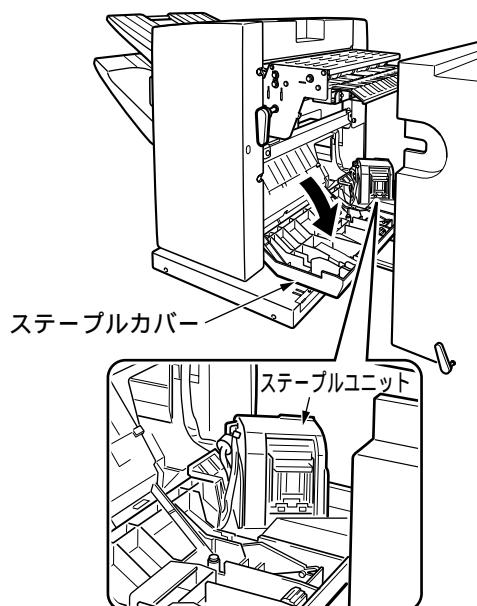
ホチキスノ　ハリガ゛　アリマセン

必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用するとフィニッシャが故障するおそれがあります。

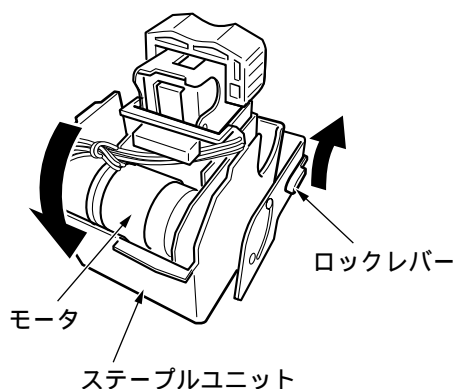
ホチキス針を補充します

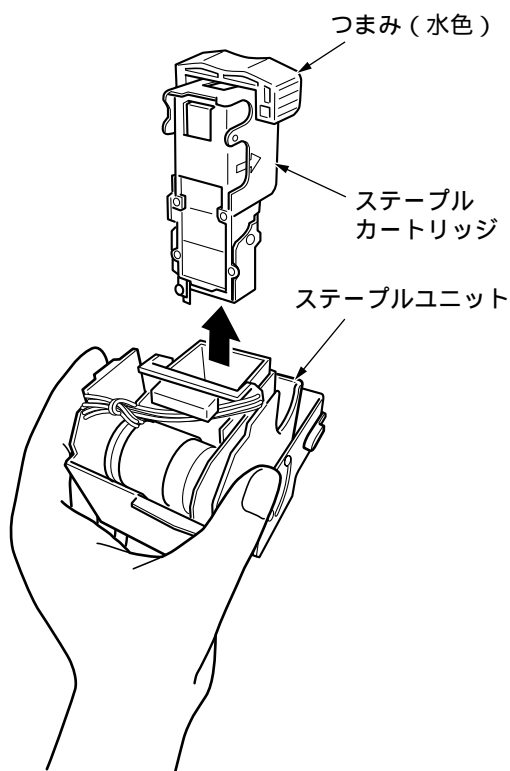
1 フィニッシャを外します。

❶ デカーラレバーを下向きに回します。

❷ リリースレバーを上に持ち上げながら、フィニッシャをプリンタから離します。

注　フィニッシャガイドが熱くなっている場合がありますので、フィニッシャガイドにさわらないでください。

❸ ステープルカバーを開けます。

2 ステープルユニットからステープルカートリッジを外します。

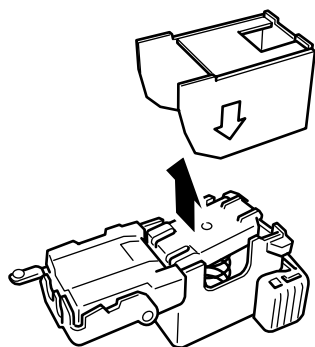
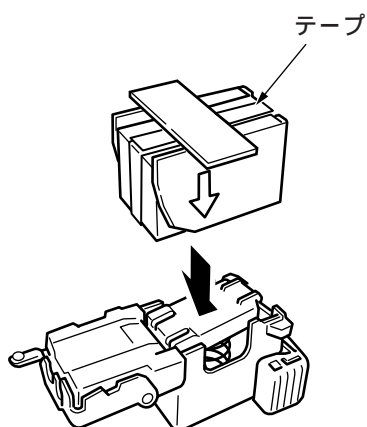
注 フィニッシャ内部の部品や端部でけがをしないように注意してください。

❶ ロックレバー（青）を持ち上げながら、ステープルユニットを矢印の方向に回転させます。

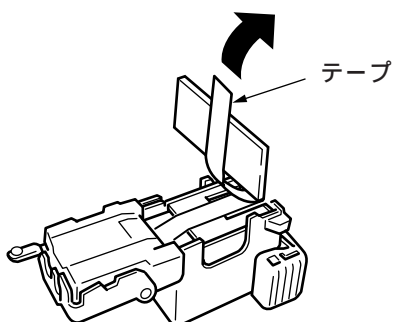
注 **ステープルユニットのモータが熱くなっている場合がありますので、モータにさわらないでください。**

❷ ステープルユニットを押さえながら、ステープルカートリッジのつまみ（水色）を持ち上げて、ステープルカートリッジを取り外します。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

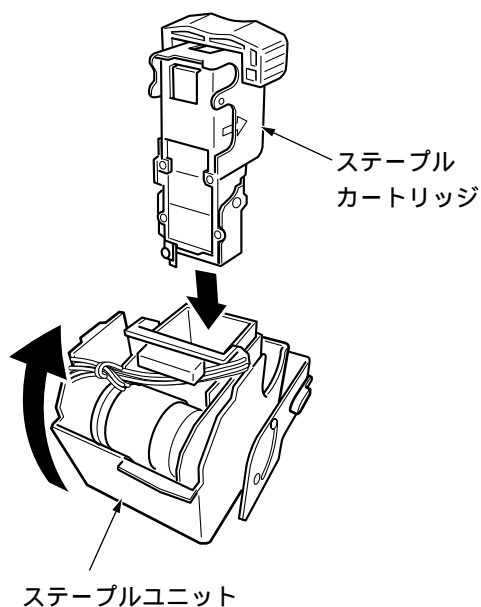
ステープルカートリッジを取り外すときは、上の部品に手が当たらないようにしてください。

5章

3 ホチキス針を補充します。

❶ ステープルカートリッジからホチキス針の空き箱を取り外します。

❷ 新しいホチキス針を包装箱から取り出します。

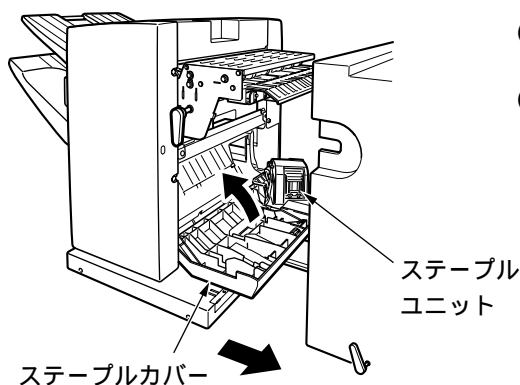
テープははがさないでください。

❸ 新しいホチキス針をテープが付いたままカチッと音がするまで押し込みます。

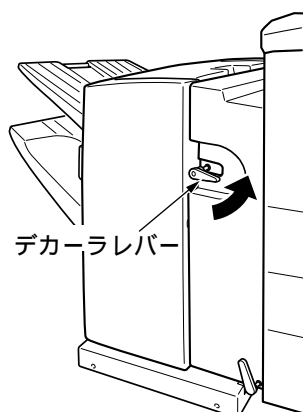
❹ テープを引き抜きます。

4 ステープルカートリッジをステープルユニットにセットします。

注 フィニッシャ内部の部品や端部でけがをしないように注意してください。

❶ ステープルカートリッジをステープルユニットにカチッと音がするまで押し込みます。

❷ ステープルユニットを矢印の方向に回転させます。

5 フィニッシャをプリンタに接続します。

❶ ステープルカバーを閉じます。

❷ フィニッシャを矢印の方向に移動させ、プリンタに接続します。

❷ デカーラレバーを水平に戻します。

注 **デカーラレバーを水平に戻していない場合、紙づまりがおこることがあります。**

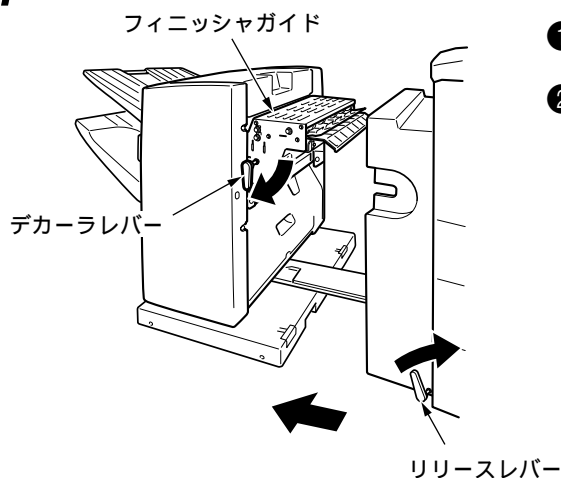
パンチダストを廃棄します

パンチダストの廃棄の目安

パンチダストが一杯になると操作パネルに［パンチダストガ　イッパイデス］のメッセージが表示されますので、パンチダストを廃棄してください。ダストボックスは、約15,000回のパンチで一杯になります。

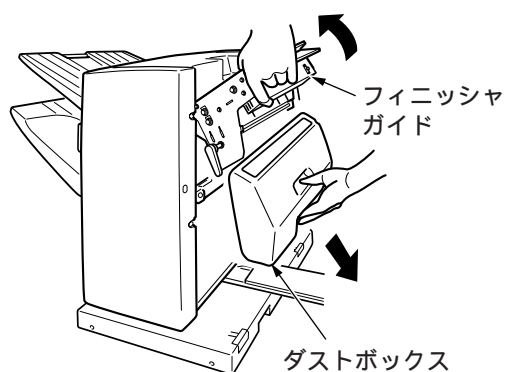
ハ゜ンチタ゛ストカ゛　イッハ゜イテ゛ス

パンチダストを廃棄します

1 フィニッシャを外します。

❶ デカーラレバーを下向きに回します。

❷ リリースレバーを上に持ち上げながらフィニッシャをプリンタから離します。

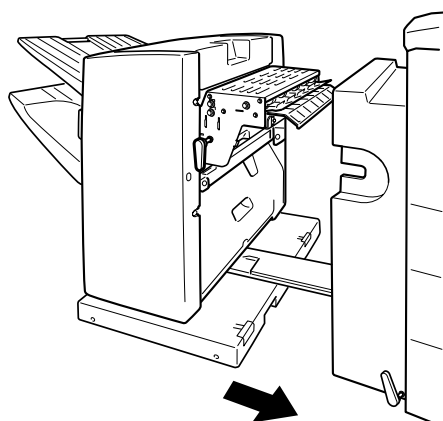
注 **フィニッシャガイドが熱くなっている場合があります。その場合は、冷めるまで待って次の作業を行ってください。**

2 ダストボックスを外します。

❶ フィニッシャガイドを持ち上げたまま、ダストボックスを取り外します。

❷ パンチダストを捨てます。

- **ダストボックスを取り外した場合は、必ず中のパンチダストを捨ててください。**
- **ダストボックスを取り外す際に、傾けすぎると中のパンチダストがこぼれ落ちる可能性がありますので、注意してください。**

3 フィニッシャガイドを持ち上げたまま、ダストボックスをセットします。

4 フィニッシャをプリンタに接続します。

❶ フィニッシャを矢印の方向に移動させ、プリンタに接続します。

❷ デカーラレバーを水平に戻します。

デカーラレバーを水平に戻していない場合、紙づまりがおこることがあります。

6 困ったときには

操作パネルのメッセージ

フィニッシャを搭載した場合に、プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。ここで説明する処置をしても良くならない場合は、OA コールセンタへご連絡ください。
OAコールセンタについてはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「ユーザサポートサービス」の「プリンタを修理したい」をご覧ください。

パネル表示	内　容
ホチキスノ　ハリカ゛　アリマセン	ホチキスの針が残りわずかです。ホチキスの針を補充してください。
オンライン SW ヲ　オシテクタ゛サイ ホチキス　テ゛キマセンテ゛シタ．ホチキスノ　ハリカ゛　アリマセン	ホチキスの針が残りわずかなので、ホチキスされずに排出されました。4（オンライン）スイッチを押してください。
ハ゜ンチタ゛ストカ゛　イッハ゜イテ゛ス	パンチダストボックスの中のパンチダストがいっぱいです。パンチダストを捨ててください。
オンライン SW ヲ　オシテクタ゛サイ ホチキス　テ゛キマセンテ゛シタ．ヨウシカ゛　オオスキ゛マス	ホチキス止めしようとする用紙が多すぎるために、ホチキス止めされずに排出されました。4（オンライン）スイッチを押してください。
ヨウシヲ　トリノソ゛イテクタ゛サイ 482：フィニッシャ　スタッカフル	フェイスダウンスタッカ（下スタッカ）が用紙でいっぱいか、ホチキス止めされた用紙が崩れ落ちる可能性があります。すべての用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 361：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 362：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 363：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 364：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 365：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 366：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
フィニッシャヲ　ハス゛シテクタ゛サイ 367：ヨウシ　シ゛ャム	フィニッシャ内部で紙づまりが発生しました。フィニッシャを外し、用紙を取り除いてください。
ステーフ゜ル　カートリッシ゛ヲ　セットシテクタ゛サイ 471：ステーフ゜ル　カートリッシ゛　ミソウチャク	ステープルカートリッジが正しく取り付けられていません。ステープルカートリッジを取り付け直してください。
ハ゜ンチタ゛ストホ゛ックスヲ　セットシテクタ゛サイ 472：ハ゜ンチタ゛ストホ゛ックス　ミソウチャク	パンチダストボックスが正しく取り付けられていません。パンチダストボックスを取り付け直してください。
フィニッシャヲ　セットシテクタ゛サイ 473：フィニッシャ　ミセツソ゛ク	フィニッシャが正しく取り付けられていません。フィニッシャを取り付け直してください。
フ゜リンタヲ　サイキト゛ウ　シテクタ゛サイ ｎｎｎ：エラー サーヒ゛ス　コール ｎｎｎ：エラー	フィニッシャに異常が発生しています。プリンタの電源を OFF/ON してください。 復旧しない場合は、OA コールセンタへご連絡ください。 090：フィニッシャステープラモータエラーです。 091：フィニッシャトレイエレベータモータエラーです。 092：イグジットベルトモータエラーです。 093：フィニッシャジョギングモータエラーです。 094：フィニッシャメインフィードモータエラーです。 ｎｎｎが下記の場合は、次の処置も行ってください。 189：フィニッシャユニットインタフェースエラーです。 プリンタとの接続コードまたはフィニッシャ電源コードを正しく接続し直してください。

紙づまりになったとき

紙づまりはプリンタ本体及びフィニッシャ両方で発生する可能性があります。プリンタで紙づまりした場合はプリンタ本体のユーザーズマニュアル　リファレンス編の「紙づまりになったとき」をご覧ください。

フィニッシャで紙づまりになったとき

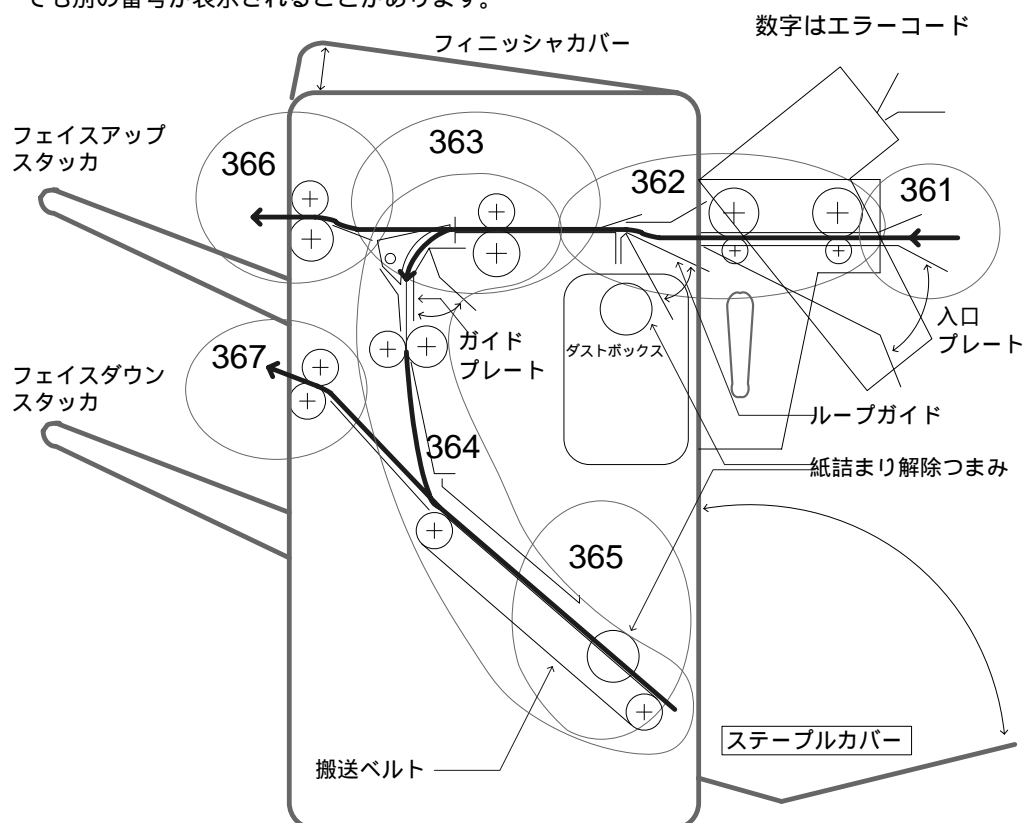
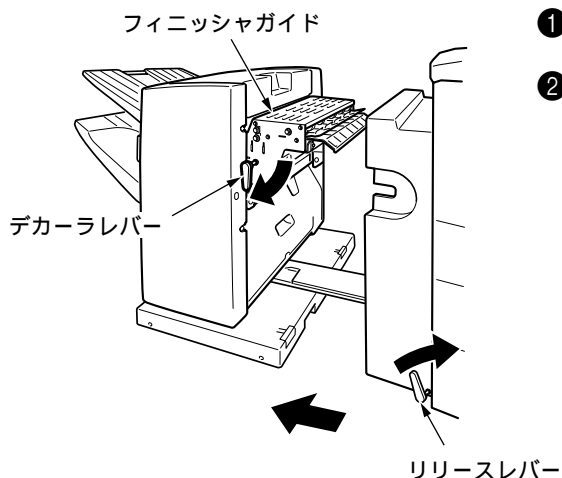
用紙を取り除いてもつまった用紙のリカバー印刷はされません。
ホチキス止め指定がされている印刷データは、ホチキス止めされずに残りの用紙が排出されます。

プリンタで紙づまりになったとき

用紙を取り除くとつまった用紙からリカバー印刷されます。
ホチキス止め指定されている印刷データは、つまった用紙が1ページ目の場合にはホチキス止めされて用紙が排出されます。つまった用紙が2ページ目以降の場合は、ホチキス止めされずに用紙が排出されます。

プリンタの操作パネルで、「ジャムリカバー」が「オン」に設定されている必要があります。初期設定は「オン」になっています。

1　プリンタの操作パネルに紙づまりの場所が番号で表示されるので、場所を確認します。

番号は最初につまった場所を表示します。つまった場所が数カ所ある場合は、紙を取り除いても別の番号が表示されることがあります。

メモ　紙詰まりは361～367までの番号で表示されます。

6章

2 フィニッシャを外します。

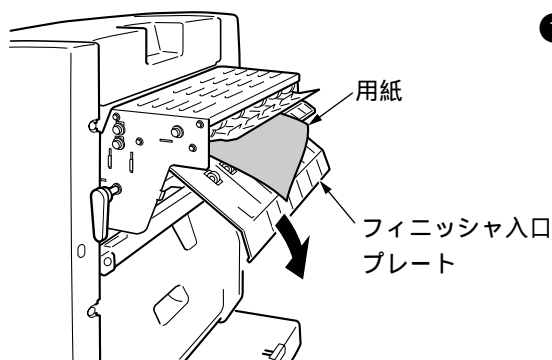
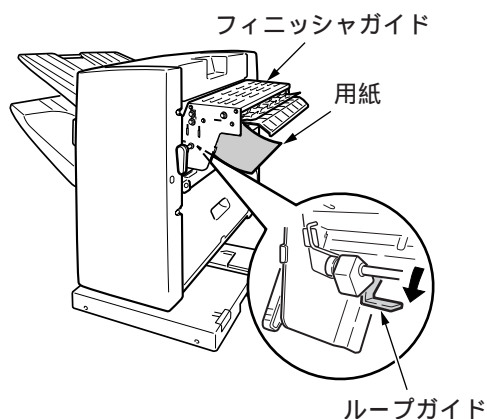
❶ デカーラレバーを下向きに回します。

❷ リリースレバーを上に持ち上げながら、フィニッシャをプリンタから離します。

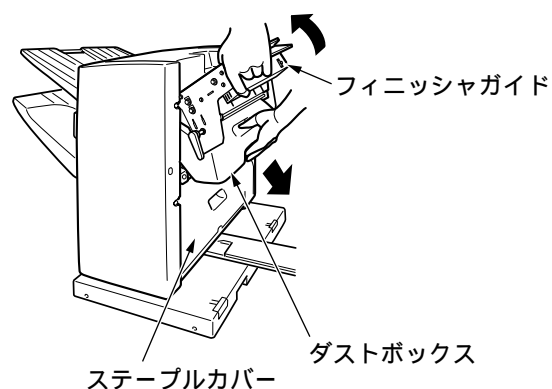
注 **フィニッシャガイドが熱くなっている場合があります。その場合は、冷めるまで待って次の作業を行ってください。**

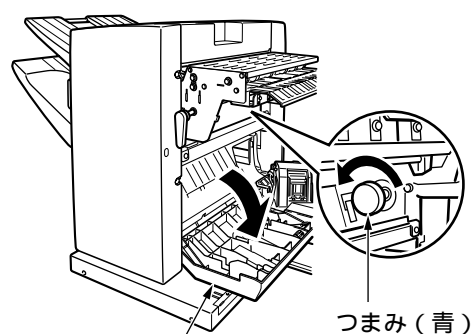
3 つまった用紙を取り除きます。

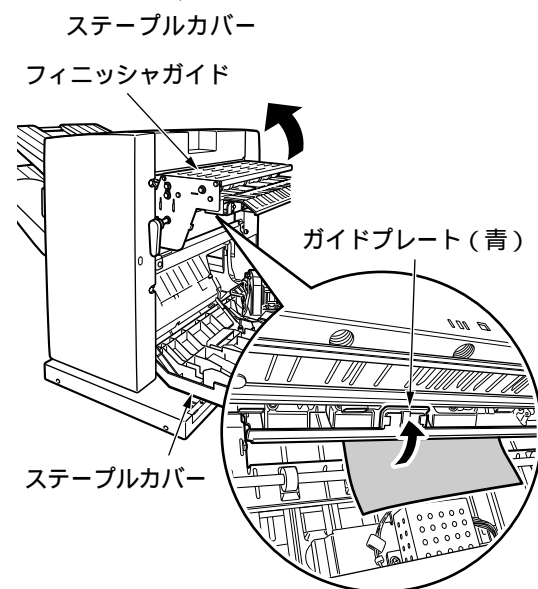
フィニッシャ内部の部品や端部でけがをしないように注意してください。

361、362 の場合

❶ フィニッシャ入口プレートを下に押しながら、用紙があれば引き出します。

❷ フィニッシャガイドの中にあるループガイドを下に押しながら用紙を引き出します。

メモ **フィニッシャガイドを持ち上げると、用紙が取りやすくなります。**

363、364の場合

❶ フィニッシャガイドを持ち上げたまま、ダストボックスを取り外します。

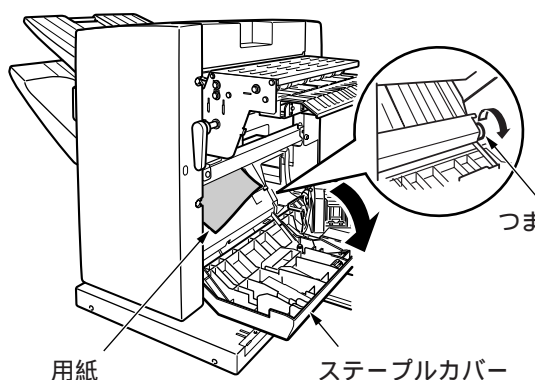
- **ダストボックスを取り外した場合は、必ず中のパンチダストを捨ててください。**
- **ダストボックスを取り外す際に、傾けすぎると中のパンチダストがこぼれ落ちる可能性がありますので、注意してください。**

❷ ステープルカバーを開けます。

❸ フィニッシャガイドの奥にあるつまみ（青）を、矢印の方向に回して、用紙が出てきたら引き出します。

❹ フィニッシャガイドの奥にあるガイドプレート（青）を持ち上げながら用紙を引き出します。

❺ フィニッシャガイドを持ち上げたまま、ダストボックスをセットします。

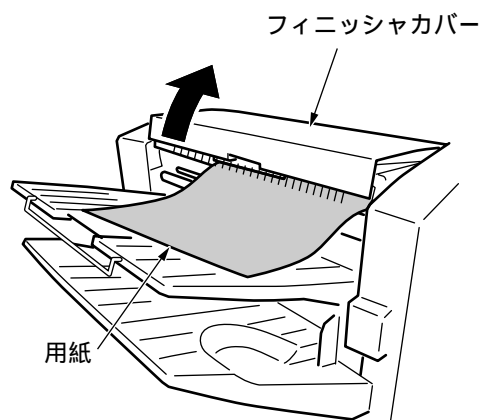
❻ ステープルカバーを閉じます。

6章

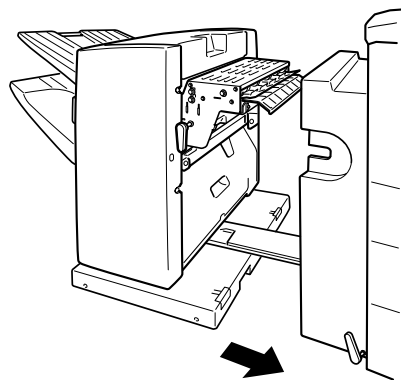
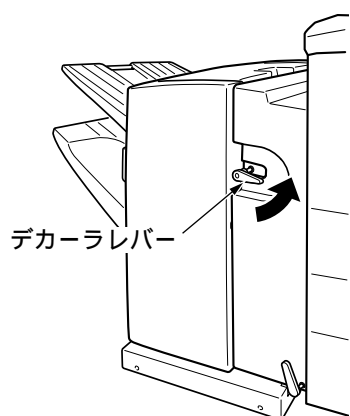
365、367 の場合

❶ ステープルカバーを開けて、用紙を引き出します。

メモ **つまみ（青）を矢印方向に回すと、用紙が取りやすくなります。**

❷ ステープルカバーを閉じます。

366 の場合

❶ フィニッシャカバーを開け、用紙を引き出します。

❷ フィニッシャカバーを閉じます。

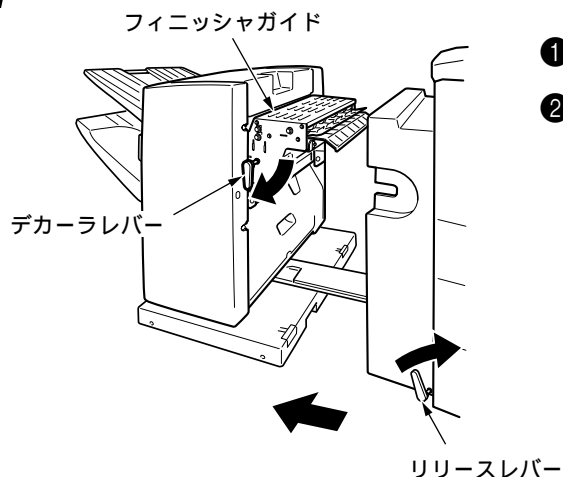
4 フィニッシャをプリンタに接続します。

❶ フィニッシャを矢印の方向に移動させ、プリンタに接続します。

❷ デカーラレバーを水平に戻します。

デカーラレバーを水平に戻していない場合合、紙づまりがおこることがあります。

針づまりになったとき

まだ針が残っているのにホチキス止め（ステープル）が出来ない場合は、ステープルカートリッジに針がつまっていることがありますので、確認してください。

つまった針を取り除いた後は、数回ホチキス止めできないことがあります。

1 フィニッシャを外します。

❶ デカーラレバーを下向きに回します。

❷ リリースレバーを上に持ち上げながら、フィニッシャをプリンタから離します。

注 フィニッシャガイドが熱くなっている場合がありますので、フィニッシャガイドにさわらないでください。

❸ ステープルカバーを開けます。

6章

2 ステープルユニットからステープルカートリッジを外します。

注 フィニッシャ内部の部品や端部でけがをしないように注意してください。

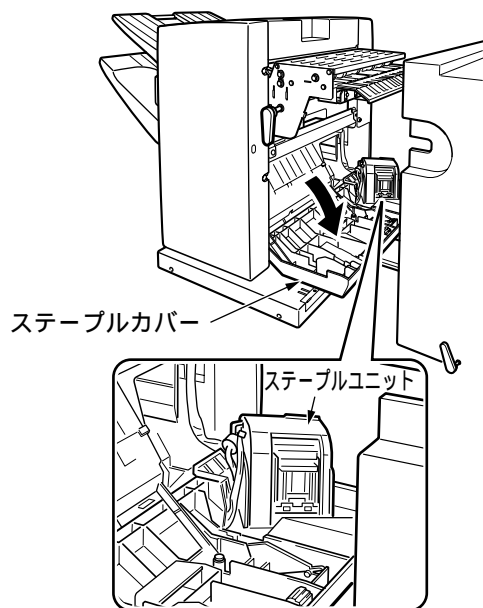
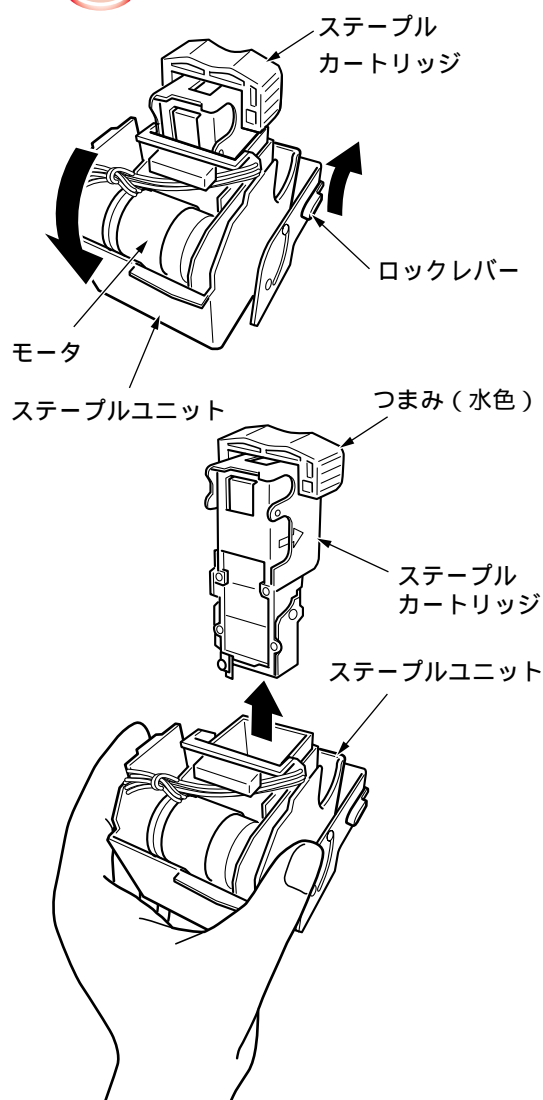
❶ ロックレバー（青）を持ち上げながら、ステープルユニットを矢印の方向に回転させます。

ステープルユニットのモータが熱くなっている場合がありますので、モータにさわらないでください。

❷ ステープルユニットを押さえながら、ステープルカートリッジのつまみ（水色）を持ち上げて、ステープルカートリッジを取り外します。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

ステープルカートリッジを取り外すときは、上の部品に手が当たらないようにしてください。

3 つまった針を取り除きます。

❶ ステープルカートリッジのつまみを引き下げて、つまった針を取り除きます。

注 つまった針は使用しないでください。

❷ つまみを元に戻します。

6章

4 ステープルカートリッジをステープルユニットにセットします。

注 フィニッシャ内部の部品や端部でけがをしないように注意してください。

❶ ステープルカートリッジをステープルユニットに、カチッと音がするまで押し込みます。

❷ ステープルユニットを矢印の方向に回転させます。

5 フィニッシャをプリンタに接続します。

❶ ステープルカバーを閉じます。

❷ フィニッシャを矢印の方向に移動させ、プリンタに接続します。

❸ デカーラレバーを水平に戻します。

注 デカーラレバーを水平に戻していない場合、紙づまりがおこることがあります。

付　録

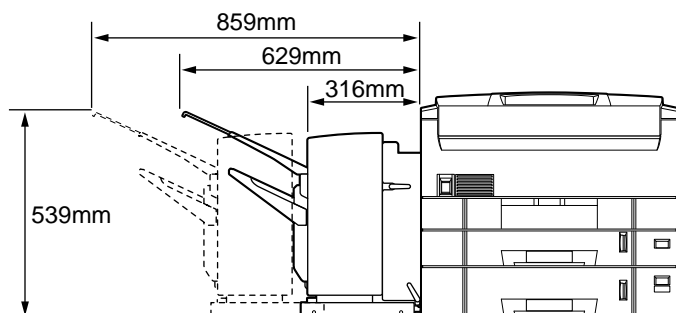
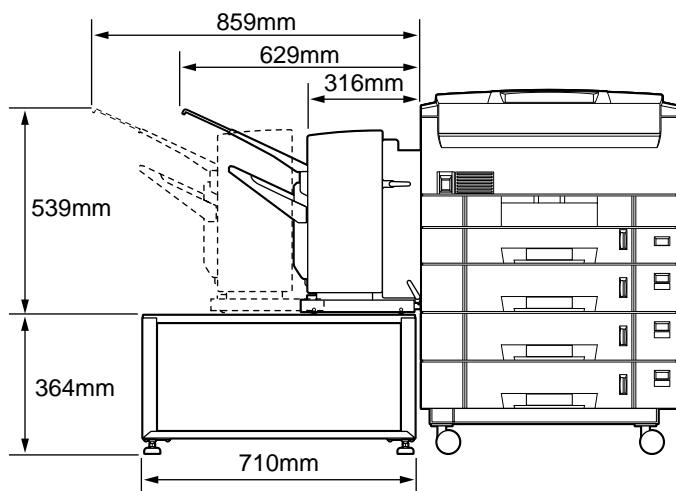
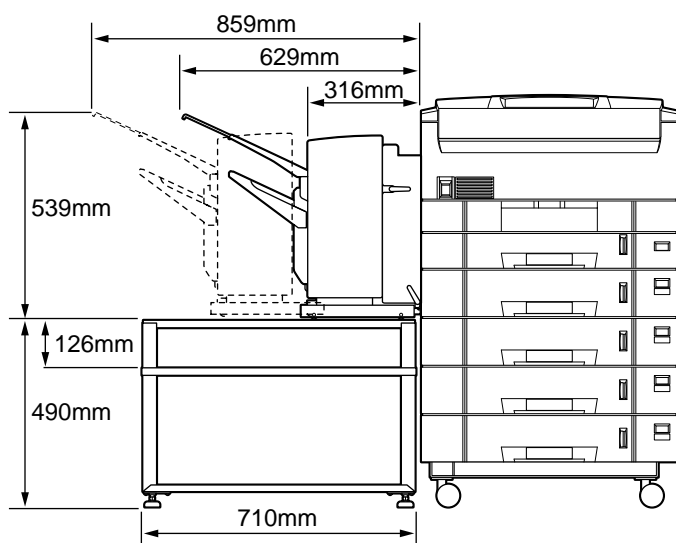
フィニッシャの仕様

主な仕様

機能	大量スタック、ホチキス止め（ステープル）、パンチ、ジョブオフセット
排出方法	フィニッシャフェイスアップ（上スタッカ） フィニッシャフェイスダウン（下スタッカ）
スタック容量	フィニッシャフェイスアップ：約 100 枚 / 連量 70kg フィニッシャフェイスダウン：約 1000 枚 / 連量 70kg（スタッカフル検知機能あり）
排出可能用紙サイズ	フィニッシャフェイスアップ：A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、タブロイド、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ、カスタム（幅 100 ～ 297mm、長さ 148 ～ 900mm） フィニッシャフェイスダウン：A4（横送り）、レター（横送り）
排出可能用紙連量	フィニッシャフェイスアップ：連量 55kg ～ 170kg フィニッシャフェイスダウン：連量 55kg ～ 89kg
ホチキス止め可能用紙サイズ	A4（横送り）、レター（横送り）
ホチキス止め可能枚数	最大 30 枚、用紙の厚さ 3mm 以下 / 連量 55kg ～ 89kg
パンチ可能用紙サイズ	長辺とじ：A4（横送り）、レター（横送り）、B5（横送り） 短辺とじ：A3、A4（縦送り）、A5、A6、B4、B5（縦送り）、レター（縦送り）、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ、カスタム（幅 100 ～ 297mm、長さ 148 ～ 900mm）
パンチ可能用紙連量	連量 55kg ～ 89kg
電源	AC100V ± 10V、50/60Hz ± 1Hz
消費電力	動作時：最大 62W、平均：30W　待機時：5W 以下
使用環境	動作時：10 ～ 32℃／ 20 ～ 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃) 停止時：0 ～ 43℃／ 10 ～ 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
標準使用条件	平均電源 ON 時間　：220H ／月　平均印刷枚数　：7,000 枚／月
消耗品	フィニッシャ用ステープルカートリッジ
装置寿命	5 年または 100 万枚(平均印刷枚数：7,000 枚／月)
重量	約 25kg
対応プリンタ	ML9055cV、ML3050cV、ML3020cV、ML3020cW
プリンタのオプショントレイの組み合わせ	セカンドトレイユニット　：I タイプ*1 大容量トレイユニット　：II タイプ*1 セカンド + 大容量トレイユニット　：III タイプ*1

*1：詳しくは「外形寸法」（69 ページ）をご覧ください。

付録

外形寸法

Iタイプ

IIタイプ

IIIタイプ

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店または OA センタでお求めください。
OA センタについてはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「ユーザサポートサービスについて」の「消耗品を購入したい」をご覧ください。

品　名	型　名	内　容
フィニッシャ用ステープルカートリッジ	MLSTC01	フィニッシャユニット専用針 3000 本× 3 個入り
フィニッシャ・コピーユニット兼用台	MLTBL02	大容量トレイに対応したフィニッシャの台
フィニッシャキット cV リーズ用	MLFNK01	cVシリーズにフィニッシャユニットを装着する際に必要なキット
フィニッシャキット cW シリーズ用	MLFNK02	cW シリーズにフィニッシャユニットを装着する際に必要なキット

- **消耗品、オプションは、必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用すると、フィニッシャが故障するおそれがあります。**
- **ご購入されたプリンタに合ったフィニッシャキットをお使いください。**
- **直射日光をさけ、温度 : 0 〜 35˚ C、湿度 : 20 〜 85%RH 範囲にある場所で保管してください。**
- **周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。**
- **幼児の手が届かない所に保管してください。**

オキカラーページプリンタ
MICROLINE 9055cV/3050cV/
3020cV/3020cW
フィニッシャーユニット
ユーザーズマニュアル

発行日　2001年 9月　第1版
発行者　株式会社 沖データ

41937709EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。